

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム ケアコート武蔵野		施設番号	K 308
項目	前年度の評価結果に基づく現状分析 (平成29年度)	改善計画 (平成29年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成30年4月30日時点)	
施設での生活の様子を発信する方法の工夫について	パンフレットは関連する医療法人財団の経営する病院などに置いてあり、ホームページでは提供するサービス、利用料、施設案内など、施設の概要を載せている。 しかし、施設での生活の様子を伝えられる広報誌など、情報を発信するものがない。 施設では、ホームページでの情報発信の充実を考えているので、ボランティアを活用して日々の生活を豊かにするとともに、その内容や季節の行事や写真を載せて、施設での生活の様子を発信する方法の工夫が望まれる。	平成30年6月にホームページをリニューアルし、その際、施設のイベントや行事を紹介するページを追加した。 そのページには、年間の行事計画と、夏祭り、敬老会、地域交流、行事食についての説明と、行事の雰囲気分かる写真を掲載した。	1 実施済み	2 実施予定(平成 30 年 6 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 平成30年6月末にホームページのリニューアルが完了し、その中で情報発信をしております。
研修の充実を図る工夫について	研修は、研修委員会が企画・実施を担当し、各委員会もそれぞれ所管の業務について検討し、必要に応じて全職員を対象に全体研修を実施している。 28年度は安全対策、看取り対応、感染症予防対策、褥瘡予防対策の各委員会が1～2回の全体研修を実施した。 いずれも1月から3月に集中しての実施が多く、受講率は平均50%ほどである。短期間に集中しての受講は業務との関係で難しいと考えられ、できるだけ年間の平均実施が望ましい。 また、研修成果の確認が不十分との認識もあり、受講率を高める研修計画や成果の確認方法などを検討するとよい。	年間の研修計画を立案し、全体研修が年間に平均実施できるように配慮した。 なお、研修の実施に際しては各テーマで2回ずつ実施する事で、受講率を高めたいと考えている。 また、研修の成果については、研修後にテストを実施する事で、理解度の確認を行う予定です。 看取り研修・・・9月、1月 身体拘束廃止研修・・・8月、2月 感染症予防研修・・・6月・11月 褥瘡予防研修・・・10月 事故防止研修・・・11月、3月 個人情報保護研修・・・12月	1 実施済み	2 実施予定(平成 30 年 6 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 平成30年6月に年度内の全体研修の開催日程を調整し、左記の予定を立てました。
空床を減らし経営の安定化に取り組む事について	施設ではユニット型で質の良いサービス提供を目指している。しかし、介護保険制度の改正で、入所基準が変わったり、人材の確保が難しいという状況にあって、新規入所が減り空床が埋まらない状態が財政に影響している。 生活リハビリなどサービスの向上で介護報酬増を目指すなど努力をしているが十分な成果が出ていない。 平成30年度の介護報酬制度の改正を機に、さらに新たな視点を持って新・中長期計画の中で、経営安定化に取り組むことが望まれる。	前年度の稼働率低下(空床が埋まらない)の主な原因は、生活相談員の退職と、新人の生活相談員のスキル不足にあると分析している。 平成29年度中に、生活相談員2名が退職したが、事業所内の人員配置・業務分担の見直しにより、入所調整機能について強化する事ができ、平成30年7月上旬には満床にすることができた。 また、生活相談員についても、7月中旬に2名体制を確保できたので、今後は職員体制の確保と、スキルアップの向上を1年かけて図って行きたいと考えている。	1 実施済み	2 実施予定(平成 30 年 7 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 平成30年5月より、入所の調整機能を別職員が兼務する事で、実質的に「事前訪問調査・入所判定・入所」の流れのスピードアップを図る事が出来ました。この事により、平成30年7月上旬に満床にすることができました。

※この様式は、「平成29年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。